

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1） - 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会	2,3,9,10,19,26,50,51, 52,53,58,60,61	「母子保健専門指導員研修会」 リプロダクティブ ヘルス 母子保健サービス 子育て支援 目的・内容:母子保健の課題と最新情報の修得、問 題点の的確な把握及び対応能力の向上 対象:自治体勤務の保健師、助産師、看護師等母 子保健関係者、～ 合計62名 開催数:3回 効果:母子保健専門指導者の育成ができた。	2,3,9,10,19, 26,50,51,52, 53,58,60,61	「母子保健専門指導員研修会 リプロダクティブヘル ス 母子保健サービス 子育て支援 目的・内容:母子保健の課題と最新情報の習得、問 題点の的確な把握及び対応能力の向上 対象:自治体の保健師、助産師、看護師、母子保健 関係者(定員50名) 開催(配布)予定数:3回
		日本子ども家庭総合研究所における研究活動 目的・内容:子ども家庭福祉・母子保健・虐待防止・ 子どもの心の問題をテーマに研究を行った。 効果:(紀要等に成果を発表)		日本子ども家庭総合研究所における研究活動 目的・内容:子ども家庭福祉・母子保健・虐待防止・ 子どもの心の問題をテーマに研究を行う。
		情報提供 目的・内容:子ども家庭福祉・母子保健に関する各 種情報収集、提供 ・ウェブサイト「愛育ねっと」 ・「母子保健情報」の発行 対象:子ども家庭福祉、母子保健関係者(機関、研 究者等) 効果:日本子ども家庭総合研究所が所有している 国内外の子ども家庭福祉関係及び母子保健関連 の情報を提供することにより、より高度な知見が得 られ厚生行政に寄与することが期待される。		情報提供 目的・内容:子ども家庭福祉に関する各種情報の提 供(「愛育ねっと」による情報提供を含む)「母子保健 情報」の発行(年2回) 日本子ども家庭総合研究所図書館で所蔵する子 ども家庭福祉、母子保健領域の図書資料の閲覧 対象:子ども家庭福祉関係の機関、研究者等母子 保健関係の機関、研究者等希望者
子どもの心・体と環境を考える会	その他	研究会誌「子どもの健康科学」第5巻2号発行 目的・内容:第3回テーマ別研究会(「ストレスマネジ メント教育」「軽度発達障害」)について、演者が論 文化した研究会誌を作成 対象:本会会員(医療・教育・福祉・その他の多分野 に及び)に配布。一部の図書館に謹呈 配布数:350部を発行、配布 効果:現場で実施されている教育や対応について、 認識を高めることができた	15	テーマ別研究会の開催 目的・内容:平成18年6月24日(土)第4回を開催 (テーマは「学童・思春期の問題と不登校はこう解決 する」「保健室での実践活動」「教育相談室での 実践活動」「校外相談室での実践活動」。平成18年 10月7日(土)第5回を開催予定(テーマは子どもの 発達と異常への挑戦) 対象:本会会員と非会員。医療・教育・福祉・その 他の多分野から、各回50人の参加を見込んでいる 開催(配布)予定数:2回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	15	第7回学術大会開催 メインテーマ:「子どもの発達を個体環境と社会環境から考える」 目的・内容:平成17年12月3日(土)4日(日)。奥山眞紀子大会長(国立成育医療センター:こころの診療部長)の下で開催。シンポジウム1つ・フォーラム1つ・セミナー1つ、一般演題12題等が行われた。 対象:本会会員に加え、非会員も参加。医療・教育・福祉・その他の多分野に及び、のべ300人が参加した 開催数:1回 効果:子どもを育む新しい社会システムを目指し、医療、福祉、教育、市民と行政の視点から意見・情報交換がおこなわれた	15	研究会誌「子どもの健康科学」の発行(第6巻2号・第7巻1号) 目的・内容:第6巻2号は『連携と組織的対応の実践例』 「保健室での実践活動」「教育相談室での実践活動」に関するテーマ別研究会の報告を含む予定第7巻1号は第8会学術大会特集を予定 対象:本会会員(医療・教育・福祉・その他の多分野に及び)に配布し、一部の図書館に謹呈予定 開催(配布)予定数:350部を発行、配布予定
	15	研究会誌「子どもの健康科学」第6巻1号発行 目的・内容:昨年度第6回学術大会の講演およびシンポジウム(「子どもの心・体と環境をもっと健康にしよう」)について演者が論文化した研究会誌を作成 対象:本会会員(医療・教育・福祉・その他の多分野に及び)に配布。一部の図書館に謹呈 配布数:350部を発行、配布 効果:前回大会で報告された実践や知見を、学会誌の形で広く伝達することができた	15	第8回学術大会開催 目的・内容:平成18年12月16日(土)17日(日)近喰ふじ子大会長(東京家政大学教授)の下で開催予定。シンポジウム・特別講演・セミナーを企画し、一般演題も募集する 対象:本会会員と非会員。医療・教育・福祉・その他の多分野から、のべ300人の参加を見込んでいる 開催(配布)予定数:1回
			15	特別支援教育コーディネーターのためのセミナー 目的・内容:平成18年11月25日(土)26日(日)に開催予定(テーマ未定) 対象:本会会員と非会員。医療・教育・福祉・その他の多分野から100人の参加を見込んでいる 開催(配布)予定数:1回
(財)性の健康医学財団	3,10	コンドーム普及のための研究会 目的・内容:「どうしたら、若者たちにコンドームを普及させることができるか」を検討する。 対象:教育・保健・医療関係者等100名 開催数:1回開催(8月26日、東京千代田区主婦会館プラザエフ) 効果:ユニークな性教育やSTD/HIV予防活動の実践経験報告により、コンドーム普及のための新たな視点を提供した。	3,10	専門医による匿名、無料面接相談「性の健康相談室」 目的・内容:性の悩みや性感染症についての受診の勧誘、相談、検診、啓発を通してSTD/HIV感染の発見・予防啓発に努め、感染の蔓延を防止する。 対象:若い人たちを中心とする 開催(配布)予定数:週3日程度実施

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	3,10	第5回「性の健康週間」市民公開講座 目的・内容：若い人たちの性感染症予防のために、性の健康医学思想の普及啓発を集中的に行う。 対象：教育・保健・医療関係者、一般市民等、294名 開催数：1回開催（11月28日、埼玉県県民健康センター） 効果：性感染症の蔓延の現状とそれに対する教育・保健関係者の取るべき対策について理解を深めた。	3,10	Eメール「性の健康相談」 目的・内容：Eメールによる性の悩みや性感染症に関する相談に応じ、抱えている問題を明らかにし、効果的な性感染症予防啓発方法を検討する。 対象：若い人たちを中心とする 開催（配布）予定数：週2日実施
	3,10	第5回性の健康週間（平成17年11月25日～12月1日）ポスター 目的・内容：若い人たちの性感染症予防のために、性の健康医学思想の普及啓発を集中的に行う。 対象：国、各自治体、保健所、関係団体 配布数：1,000部 効果：性感染症予防の意識を高め、関心を集めた。	3,10	STD感染予防啓発情報センターによる情報提供 目的・内容：ホームページにより青少年の性感染症予防のための情報を提供する。 対象：青少年等若年層 開催（配布）予定数：常時
	3,10	パンフレット「自分には関係ないと思っていないか性感染症／エイズ」 目的・内容：性感染症予防の普及啓発 対象：国、各自治体、保健所、関係団体 配布数：7,000部 効果：性感染症の実態を知らせ、予防意識を高めた。	3,10	「性感染症」電話相談 目的・内容：性感染症への不安を持つ人からの電話相談に応じ、その社会的・精神的不安の軽減に努める。 対象：一般市民 開催（配布）予定数：週3日実施
	3,10	メッセージカード「Hのおきて」 目的・内容：若年層向けの性感染症予防啓発を目的とする。 対象：国、各自治体、保健所、関係団体 配布数：60,000部 効果：性感染症の予防意識を高めた。	3,10	第6回性の健康週間市民公開講座 目的・内容：性の健康に関する啓発活動を推進し、性感染症予防に貢献する。 対象：一般市民 開催（配布）予定数：1回開催
	3,10	リーフレット「STDとかエイズのこと知ってる？」 目的・内容：一般市民向けに性感染症の予防／啓発を目的とする。 対象：国、各自治体、保健所、関係団体 配布数：50,000部 効果：イラストや漫画を多用し、分かり易く性感染症予防を啓発したので、若い人たちに好評だった。	3,10	第6回性の健康週間ポスター 目的・内容：性感染症予防のために、性の健康医学思想の普及啓発を集中的に行う。 対象：国、都道府県、政令市、保健所および関係団体 開催（配布）予定数：年1回配布

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	3,10	個別面接相談・検診「性の健康相談室」 目的・内容：性感染症についての相談、啓発、検診を通してSTD/HIV感染の発見・予防啓発に努め、感染の蔓延防止に貢献する。 対象：ホームページの案内や保健所の紹介により来訪した相談者。76名（男性29名・女性47名）/年 開催数：週2～3回実施 効果：性感染症で医療機関を受診することが高いハードルとなっている若い人たちの受け皿となり、性感染症予防啓発に貢献できた。	3,10	パンフレット及びメッセージカード 目的・内容：性感染症の予防啓発を目的とする 対象：国、都道府県、政令市、保健所および関係団体 開催（配布）予定数：年1回配布
	3,10	Eメール「性の健康相談」 目的・内容：ケータイ世代といわれる若い人たちが手軽に利用するEメールを使い、性や性感染症の悩みに対応し、悩みや問題点を明確化し、効果的な性感染症の予防啓発の方法を検討する。 対象：ホームページ、メッセージカード、リーフレットの案内によりEメールを送信した相談者。2,687件/年 開催数：週3日実施 効果：相談者への適切な助言・指導を行うことにより、今後の性感染症の予防啓発活動遂行上提供すべき情報を明確化できた。		
全国情緒障害児短期治療施設協議会			51,65,53	全国情緒障害児短期治療施設職員研修会 公開講座 目的・内容：児童虐待の早期発見、発生予防を主とした講演会の実施 対象：児童問題の専門職、一般対象。兵庫県中心に 関係機関へ要項を配布 開催（配布）予定数：開催 1回（神戸市）

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
全国助産師教育協議会	2,3,8,9	<p>「思春期の保健対策の強化と健康教育の推進」に関する助産師教育の検討</p> <p>1. 第41回全国助産師教育協議会総会・研修会 (H.17.5.20～21) 助産師教育のコア内容と卒業時の自立レベルに対するデルファイ調査の結果から、思春期女性の支援の項目について報告した。 総会時の研修会「助産における倫理教育」の事例として「中学生の妊娠」「未成年者の性的問題」などの倫理的対応について検討した。 会場：首都大学東京健康福祉学部 対象者：全国の助産師教育関係者 参加者：会員校87校 1日目：112名 2日目：113名</p> <p>2. 全国助産師教育協議会NEWS LETTER No.47 2005.5.10 No.48 2005.8.25 関連記事「母体保護法の一部改正について」第39条避妊薬販売のできる期限延長について掲載した。 配布対象者：全国の助産師教育関係者 年1回NEWS LETTER年4回発行発行部数500部</p> <p>3. 共催事業：避妊と性感染症予防のための実践セミナー（主催：日本家族計画協会）</p> <p>効果：助産師教育のコアとして、思春期女性の支援に関する教育の必要性が認識された。助産師の直面する倫理的な問題について検討することで、助産師教育における思春期の問題の取り上げ方などの認識を高めることができた。</p>	2.3.8.9 助産師教育内容の検討	<p>1. 総会の開催；委員会活動報告 2006.5.19-20 目的・内容：思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 対象：全国助産師教育関係者機関会員数 91校 個人会員数 360名</p> <p>2. NEWS LETTERの発行 目的・内容：関連記事の掲載 対象：全国助産師教育関係者機関会員数 91校 個人会員数 360名 開催（配布）予定数：配布数：500部</p>
社団法人 日本医師会	7	<p>喫煙防止教育DVDの監修 目的・内容：未成年者の喫煙防止 配布先：都道府県・郡市区医師会</p>	7	<p>喫煙防止の絵本の作成 目的・内容：未成年者の喫煙防止</p>
	7	<p>喫煙防止ポスターの作成・配布 目的・内容：未成年者の喫煙防止 配布先：全国の病院・診療所</p>	11	<p>学校保健委員会を開催 対象：委員 開催（配布）予定数：4回開催予定</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	11	学校保健委員会開催 目的・内容:学校医による健康教育の実践について検討 委員:19名 開催数:4回開催 効果:学校医による健康教育の実践について検討がなされ、報告書が作成された。	11	平成18年度学校医講習会を開催 平成19年2月24日(土) 対象:日本医師会会員である学校医 参加人数:300人を予定 開催(配布)予定数:
	5,7,11	平成17年度学校医講習会を開催 平成18年2月18日(土) 目的・内容: ・最近の学校健康教育行政の課題について ・受動喫煙の防止と学校敷地内禁煙 ・食育について ・学校・地域保健連携推進事業実施の問題点(専門校医普及のために) 対象:日本医師会会員である学校医 参加人数:276人 開催数:1回開催 効果:学校医に学校保健活動についての認識を高めることができた。	11	第37回全国学校保健・学校医大会を開催(島根県) 平成18年11月11日(土) 目的・内容:立ち上げられ学校医!未来を担う子供達の健康を守ろう 対象:都道府県医師会関係者および学校医 参加人数:650人を予定 開催(配布)予定数:1回開催予定
	11	第36回全国学校保健・学校医大会を開催(滋賀県) 平成17年11月12日(土) 目的・内容:子どもたちの健やかでこころ豊かな成長を願って 対象:都道府県医師会関係者および学校医 参加人数:673人 開催数:1回開催 効果:学校保健関係者が全国から一堂に会して、交流することにより、学校保健・学校医活動の活性化を図ることができた。	11	各科専門医の学校保健活動に関する実践研究事業の実施 目的・内容:学校現場におけるいじめや不登校などの心の問題、性の逸脱行為、スポーツ障害、アレルギー疾患などの課題について、精神科医、産婦人科医、整形外科医、皮膚科医の協力が不可欠であることから、全国で6か所に委託し、研究事業を実施する予定。
	11	各科専門医の学校保健活動に関する実践研究事業の実施 目的・内容:学校現場におけるいじめや不登校などの心の問題、性の逸脱行為、スポーツ障害、アレルギー疾患などの課題について、精神科医、産婦人科医、整形外科医、皮膚科医の協力が不可欠であることから、全国で6か所に委託し、研究事業を実施 対象:6か所(北海道、千葉県、神奈川県、三重県、大阪府、沖縄県)		子ども支援日本医師会宣言 目的・内容:母と子に関する医療・保健・福祉環境の整備等を推進し、次世代を担う子どもたちが心身ともに健やかに育つようにする

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
(社)日本家族計画協会	2,3,4,9,10	思春期電話相談 目的・内容:電話相談を通じて健やか親子21の推進を図る。 対象:思春期本人及び保護者等。男性3,745 女性3,219 合計6,964件 (相談トップ3)男性:包茎・自慰・射精 女性:緊急避妊・病氣・妊娠不安) 効果:科学的な根拠に基づく情報提供により、悩みの解決に至った	2,3,4,9,10	思春期電話相談 目的・内容:電話相談を通じて健やか親子21の推進を図る。 対象:思春期本人及び保護者等 開催(配布)予定数:月曜日～金曜日10時～16時(除祝日・年末年始)
	2,3,4,9,10,14	思春期クリニック(婦人科・精神科・泌尿器科) 目的・内容:外来診療を通じて健やか親子21の推進を図る 対象:婦人科2,105件 精神科16件 泌尿器科113件 効果:適切な診療行為を行うことで問題解決に至った	2,3,4,9,10,14	思春期クリニック(婦人科・精神科・泌尿器科) 目的・内容:外来診療を通じて健やか親子21の推進を図る 対象:思春期女子(月経など)、妊娠不安、緊急避妊、避妊、性感染症を心配するもの。包茎に関する相談(就学前の男児) 開催(配布)予定数:火曜日、金曜日、第2土曜日(除祝日・年末年始)
	2,3,4,9,10	思春期保健セミナーコース 目的・内容:思春期の子どもたちに携わる専門職の方々に、最新情報の習得と地域ネットワークづくりの推奨を目的としたセミナー。思春期保健の総論。 対象:保健師、助産師、看護師、養護教諭、教職員等思春期保健に携わる専門職。3会場合計750名。 開催数:沖縄県、東京都、大阪府にて計3回実施。 効果:思春期保健の総論として、現状と課題を伝学習することができた。	2,3,4,9,10	思春期保健セミナーコース 目的・内容:思春期の子どもたちに携わる専門職の方々に、最新情報の習得と地域ネットワークづくりの推奨を目的としたセミナー。思春期保健の総論。 対象:保健師、助産師、看護師、養護教諭、教職員など思春期保健に携わる専門職3会場合計900名 開催(配布)予定数:3回開催 東京都、大阪府、福岡県
	2,3,4,6,14,15	思春期保健セミナーコース 目的・内容:思春期保健の各論を学習する。具体的な相談内容や対応方法についての講義。 対象:上記コース 修了者。2会場合計520名。 開催数:東京都、大阪府にて計2回開催。 効果:思春期保健の各論として、問題点を深く学習することができた。	2,3,4,6,14,15	思春期保健セミナーコース 目的・内容:思春期保健の各論を学習する。具体的な相談内容や対応方法についての講義。 対象:コース 修了者。2会場合計630名 開催(配布)予定数:2回開催 東京都、大阪府
	1,2,3,6,14,15	思春期保健セミナーコース 目的・内容:思春期保健の実践を学習する。グループ実習を導入し、ロールプレイ形式で問題点を解決していく。 対象:上記コース 修了者。2会場合計420名。 開催数:愛知県、千葉県にて計2回開催。 効果:思春期保健の実践として、実習を通して問題点を解決する手法を学習できた。	1,2,3,6,14,15	思春期保健セミナーコース 目的・内容:思春期保健の実践を学習する。グループ実習を導入し、ロールプレイ形式で問題点 対象:コース 修了者 2会場合計500名 開催(配布)予定数:2回開催 大阪府、千葉県

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	1,2,3,4,11,14,15	思春期保健セミナー上級コース 目的・内容：思春期保健セミナーコース 修了者対象の実習中心のセミナー。課題別に、より専門性を深めていただく。 対象：上記コース 修了者、110名。（コース 修了者を思春期保健相談士と認定している） 開催数：千葉県にて1回開催。 効果：実習中心なので、手法・技法の習得以外に、人脈・ネットワークづくりにも役立った	1.2.3.4.11.14.15	思春期保健セミナー上級コース 目的・内容：思春期保健セミナーコース 修了者対象の実習中心のセミナー。課題別に、より専門性を深めていただく。 対象：コース 修了者150名 開催（配布）予定数：1回開催 千葉県
	1,2,3,7,8,12,15	思春期保健相談士学術研究大会 目的・内容：思春期保健についての最新情報の習得および、活動発表の場。 対象：思春期保健相談士等、思春期保健担当者。220名 開催数：千葉県にて1回開催。 効果：最新情報、具体的な事例発表を知ることができ、今後の活動に活かせる。	1.2.3.7.8.12.15	思春期保健相談士学術研究大会 目的・内容：思春期保健相談士の全国ネットワークを図るとともに、地域で活躍する思春期保健相談士が最新情報を習得し、活動発表の場を持つことを目的とする。 対象：思春期保健相談士ほか思春期保健事業関係者等250名 開催（配布）予定数：1回開催 福岡県
	2,3	ピアカウンセリング・コーディネーター研究集会 目的・内容：思春期の子どもたちの人格の完成を目指す人間教育の一環として行う「ピアカウンセリング手法」を用いて展開できるコーディネーターを養成することを目的とする。 対象：思春期ピアカウンセリング事業に関心のある者。20名 開催数：東京都にて1回開催。 効果：ピアカウンセリングの基礎、事例発表、ピアカウンセラーの考え方などを習得した	2,3.	思春期ピアカウンセリング・コーディネーター養成セミナー 目的・内容：思春期の子どもたちの人格の完成を目指す人間教育の一環として行う「ピアカウンセリング手法」を用いて展開できるコーディネーターを養成することを目的とする。 対象：思春期ピアカウンセリング事業に関心のある者50名 開催（配布）予定数：1回開催 東京都
	2,3	「思春期ピアカウンセラー養成者」養成セミナー（前期・後期） 目的・内容：「思春期ピアカウンセラー養成者」を養成することを目的とする。 対象：受講後、ピアカウンセラーを養成することができる者等。20名 開催数：千葉県にて前期・後期各1回開催。 効果：ピアカウンセラー養成者となるべく、手法・技法を基礎から実践まで幅広く学んだ。	2,9,15	産婦人科医とコメディカルのためのOC啓発セミナー 目的・内容：低用量経口避妊薬（OC）の適正な処方と服薬指導を学ぶためのセミナー。 対象：産婦人科医や看護職などコメディカル1700名の参加が予定されている。 開催（配布）予定数：全国で8回（東京・大阪・仙台・札幌・広島・名古屋・福岡・東京）で開催予定。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	2,9,15	産婦人科医とコメディカルのためのOC啓発セミナー 目的・内容：低用量経口避妊薬(OC)の適正な処方と服薬指導を学ぶためのセミナー。 対象：産婦人科医や看護職などコメディカル1470名が参加。 開催数：全国で10回(東京・大阪・仙台・札幌・新潟・広島・名古屋・福岡・東京・大阪) 効果：厚生労働科学研究によっても、OCの普及が人工妊娠中絶実施率を減少させるとの報告がある。	2,9,15	性犯罪被害者に対する医療援助どうする？緊急避妊実践セミナー 目的・内容：警察庁が平成18年度からスタートさせた性犯罪被害者に対する医療援助の仕組みを学ぶとともに、世界で広く使用されている緊急避妊法(ピルとIUD)の使用法などについて学ぶ。 対象：産婦人科医など200名の参加が予定されている。 開催(配布)予定数：1回開催 東京都
	2,3,15	指導者のための避妊と性感染症予防セミナー 目的・内容：性情報の提供は、家庭よりも学校や地域からという調査結果に基づき、若者の避妊と性感染症予防について考える。 対象：保健師、助産師、看護師、養護教諭、教職員等思春期保健に携わる専門職。8会場合計1700名 開催数：東京都(2回)、北海道、宮城県、愛知県、大阪府、広島県、福岡県 効果：知識の習得のみならず、学校と地域との連携を図るヒントとなった。	2,3,15	指導者のための避妊と性感染症予防セミナー 目的・内容：地域で活躍する指導者が、それぞれの役割を再評価し、学校性教育とのコラボレーションを考える一助となることを目的とする。 対象：保健師、助産師、看護師、養護教諭、看護教員、教職員、医師、カウンセラー、他1,620名 開催(配布)予定数：8回開催東京都2回、北海道、岡山県、宮城県、大阪府、愛知県、福岡県
	15	母子保健家族計画全国大会 目的・内容：母子保健・家族計画の功労者を表彰するとともに、全国の母子保健事業担当者が集う。 対象：医師、保健師、助産師、看護師、栄養士など保健、医療、福祉他、母子保健関係者。1,000名 開催数：奈良県にて1回開催。 効果：子どもや子どもを育てる全ての人が、笑顔で生活するには何ができるか考えられた。	15	健やか親子21全国大会 目的・内容：母子保健・家族計画の功労者を表彰するとともに、全国の母子保健事業担当者が集う。 対象：医師、保健師、助産師、看護師、栄養士など保健、医療、福祉他、母子保健関係者1,500名 開催(配布)予定数：1回開催 高知県
	2,3,9,10	第2回男女の生活と意識に関する調査報告書 目的・内容：性と避妊、妊娠、中絶などに関する男女の意識や行動などの調査。 対象：都道府県・市区町村等の行政体、大学、研究機関など。 効果：貴重な調査であり、調査対象者の抽出、調査方法など高い評価を受けた。	2,3,9,10,15	セクシュアリティがわかる本 目的・内容：「セクシュアリティ」について若者たちの視点で書かれた本 対象：養護教諭、保健師、若者ピアカウンセラーなど。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	9.1	小学生向け性教育教材 目的・内容:学習指導要領に基づく学年に応じた指導計画案によって、市教育を实践できるCD-ROM3枚組。 対象:小学校など。 効果:スライド形式で各校の指導案に合わせて飼料が活用できるようになった。	2.3.4.9.10	高校生向け性教育教材 目的・内容:学習指導要領に基づく学年に応じた指導計画案によって、市教育を实践できるCD-ROM。 対象:高等学校など
	3.9.10	中学生向け性教育教材 目的・内容:学習指導要領に基づく学年に応じた指導計画案によって、市教育を实践できるCD-ROM3枚組。 対象:中学校など。 効果:スライド形式で各校の指導案に合わせて飼料が活用できるようになった。	3.10	リビング・トゥギャザー 目的・内容:さまざまな状況でHIV/AIDSと向き合う若者たちの手記をまとめた本 対象:学校、職場、家庭など
	16.63	おいしく、たのしく!なんでもたべよう 目的・内容:幼児から小学校低学年向けの型抜き小冊子。 対象:都道府県・市区町村等の行政体。 効果:食育の推進に寄与した。	2.3.9.10	セクシャルヘルスブック 目的・内容:からだのこと、避妊のこと、性感染症のこと、など基本的な知識をわかりやすく教える小冊子。 対象:高校(生)、大学(生)など。
			2.3.9.10	STIってしてる? 目的・内容:若者たちが語りかける、かわいいデザインとあたたかみのあるイラストが特長の性教育配布用教材 対象:都道府県・市区町村等の行政体、高等学校・大学等の教育機関など。
			2.3.9.10	かげがえのない大切なもの 目的・内容:若者たちが語りかける、かわいいデザインとあたたかみのあるイラストが特長の性教育配布用教材。 対象:都道府県・市区町村等の行政体、高等学校・大学等の教育機関など
			2.3.9.10	今、気になる子、いる? 目的・内容:若者たちが語りかける、かわいいデザインとあたたかみのあるイラストが特長の性教育配布用教材。 対象:都道府県・市区町村等の行政体、高等学校・大学等の教育機関など。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
			2.3.4.9.10	思春期Q & A 目的・内容: 思春期の心と悩みに、思春期電話相談に寄せられた悩みをスタッフの手でまとめた本 対象: 保健師、助産師、看護師、養護教諭、教職員など思春期保健に携わる専門職
財団法人 日本学校保健会	6	薬物乱用防止広報啓発活動 目的・内容: 児童生徒に薬物乱用防止に関する知識を普及するため、競技場の大型ディスプレイや街頭ビジョンにその内容を放映することにより広報活動を行う。 対象: 児童生徒のうち主に高校生 ポスターは全国の国公私立の高等学校に配布 配布数: 14,000枚 効果: 児童生徒に薬物の有害性についての知識を深めさせた。	6	薬物乱用防止広報啓発活動 目的・内容: 児童生徒に薬物防止に関する知識を普及するための活動を行う。 対象: 児童生徒のうち主に高校生 (広報媒体は今後の検討)
	9,10	エイズに関するポスターの配布 目的・内容: エイズポスターを配布することにより、児童にエイズの知識の普及を図る。 対象: 小学生児童 全国国公立小学校 配布数: 32,000枚 効果: 児童にポスターを教材として活用することにより、その理解を深めさせた。	9,10	エイズに関するポスターの配布 目的・内容: エイズポスターを配布することにより児童にエイズの知識の普及を図る。 対象: 小学校児童 全国国公立小学校 開催(配布) 予定数: 約32,000枚
	11	「学校保健委員会」活性化のための表彰制度 目的・内容: 子どもたちの健康増進を図るためには、学校内のみならず地域等との連携が不可欠なため、その推進組織である学校保健委員会の活性化を図る。 対象: 小・中・高・特殊教育諸学校 各都道府県からの推薦82校 効果: 各学校に学校保健委員会の促進と開催回数が増などの活性化に寄与した。	11	「学校保健委員会」活性化のための表彰制度 目的・内容: 子どもたちの健康の増進を図るためには、学校内のみならず地域等との連携が不可欠なため、その推進組織である学校保健委員会の活性化を図る。 対象: 小・中・高・特殊教育諸学校 開催(配布) 予定数: 推薦校数85校(予定)
	13	子どもたちの心の問題の検討 目的・内容: 子どもたちの心の問題点に対応するため、養護教諭の相談活動を中心とした校内ネットワークづくりを目指す。 対象: 児童生徒 効果: 本年は3カ年の2年目であり、実態調査の実施とその分析を行った。	13	子どもたちの心の問題の検討 目的・内容: 子どもたちの心の問題に対応するため、養護教諭の相談活動を中心とした校内ネットワークづくりを目指す。 対象: 児童生徒 開催(配布) 予定数: 終了年次として指導資料を作成する。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
				「まちの保健室」活動の推進 目的・内容:「まちの保健室」における子育て支援や 思春期相談等を推進する 対象:「まちの保健室」に関わる看護職 開催(配布)予定数:通年
				「看護の日」における全国イベント 目的・内容:子育て相談、父親・母親教室等 対象:一般 開催(配布)予定数:1日×47都道府県
社団法人 日本看護協会	2月9日	中高生と「看護の日」をつなぐ一日まちの保健室 目的・内容:中高生を対象に、健康チェック、体験、 保健指導を通し、性、エイズ、禁煙、アルコール、ダ イエットなど若者に特有な健康課題に焦点を当て、 自分の身体に対する興味や健康に対する気づきを 喚起する。 対象:一般(特に中高生) 開催数:1日×1回 効果:アンケート回答者の66%が「自分の身体や健 康への関心が高まった」と回答。アルコールバッチ テストや体脂肪測定コーナーが盛況。健康セミナー で性感染症の予防等について相談するカップルも 多くいた。		
日本公衆衛生学会	7	禁煙ガイドラインの作成 目的・内容:本学会を含む国内9学会合同の作成班 により「禁煙ガイドライン」を作成した 対象:診療や健康診断に従事する医師・歯科医師 を対象としたガイドライン 開催数:本学会誌にダイジェスト版を掲載。本学会 ホームページ(会員ページ)にも掲載予定 効果:9学会合同によるガイドラインの整備は、禁煙 治療の保険適用化の促進要因となった。		
	1,4,51-55	シンポジウムの開催 目的・内容:本学会第64回総会(平成17年9月 札 幌)において「少子社会における子どもの健全な発 達」をテーマにシンポジウムを開催した 対象:550人 開催数:1回		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	3,9,10	フォーラムの開催 目的・内容:本学会第64回総会において「感染症フォーラム」を開催した 対象:130人 終了後に記録集を作成して全国の関係機関に配布 開催(配布)数:1回 300部		
日本思春期学会	7,8	第24回日本思春期学会学術集会会長講演「青少年の生活習慣と健康」 目的・内容:未成年者の喫煙や飲酒行動に関する調査結果から、健康について考える。 対象:医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催数:平成17年8月20日～22日 効果:未成年者の喫煙率、飲酒率の減少を		第25回日本思春期学会学術集会理事長講演「思春期と性差医学」 対象:医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催(配布)予定数:平成18年8月25日27日
	15	特別講演 「学校における思春期のヘルスプロモーション」 対象:医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催数:平成17年8月20日～22日		特別招請講演「子どもを守ろう」 対象:医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催(配布)予定数:平成18年8月25日27日
		特別講演 「21世紀の医療制度改革」 対象:医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催数:平成17年8月20日～22日 平成18年8月20日～22日		招請講演1「事件・事故後の児童へのメンタルケア」 対象:医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催(配布)予定数:平成18年8月25日27日
	15	特別講演 「思春期と次世代育成支援」 対象:医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催数:平成17年8月20日～22日		招請講演2「IT時代の若者文化と大人の責任」 対象:医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催(配布)予定数:平成18年8月25日27日
		教育講演 「現代社会と思春期心性からみた不応行動への対応」 対象:医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催数:平成17年8月20日～22日	14	教育講演1「小児科医が診る思春期外来」 対象:医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催(配布)予定数:平成18年8月25日27日
		教育講演 「思春期の心のケアと父親の役割」 対象:医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催数:平成17年8月20日～22日	14	教育講演2「大学病院産婦人科における思春期外来の意義」 対象:医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催(配布)予定数:平成18年8月25日27日

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10,15	シンポジウム「性教育は転換期を迎えたか」 目的・内容：健康教育の立場から 性教育の立場から 学校教育の立場から 地域保健の立場から 対象：医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など		教育講演3「私の実践する性教育ピアエドゥケーター養成講座」 対象：医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催（配布）予定数：平成18年8月25日27日
	2,3,9,10	シンポジウム「思春期女性クリニックのプライマリ・ケア」 目的・内容：今、なぜ思春期クリニックは必要なのか 思春期婦人科疾患を中心に 性感染症を中心に 避妊と人工妊娠中絶 対象：医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催数：平成17年8月20日～22日	2,3,9,10,14,15	パネルディスカッション1「思春期世代とのコミュニケーション方法の効果と役割」 目的・内容：教育現場 ピアサポート 思春期外来 性教育講演会 インターネット 対象：医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催（配布）予定数：平成18年8月25日27日
	6,7,8,12	シンポジウム「青少年の健康リスク」 目的・内容：青少年の喫煙行動の問題 青少年の飲酒行動の問題 青少年の薬物使用の問題 青少年のこころの問題、睡眠障害 対象：医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催数：平成17年8月20日～22日	2,3,9,19	パネルディスカッション2「これからの性教育 過去の成果と反省に立って」 対象：医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催（配布）予定数：平成18年8月25日27日
	15	第2回研修会「思春期と法律 その2」 対象：医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催数：平成17年11月13日		ポストコンGRESS教育講演1「思春期女子のヘルスケアー月経異常とその対応」 対象：医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催（配布）予定数：平成18年8月25日27日
				教育講演2「男子の思春期の悩み」 対象：医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催（配布）予定数：平成18年8月25日～27日
				教育講演「思春期発育とスポーツ」 対象：医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催（配布）予定数：平成18年8月25日～27日
日本児童青年精神医学会	14	学会総会における思春期臨床に関わる教育講演 目的・内容：思春期臨床に関わる教育講演を行い、会員である医師や心理および関連領域の専門家の教育に当たってきた。 対象：精神科医、心理士、関係者 開催数：10本の教育講演 効果：思春期臨床家の臨床能力の向上	14	思春期精神科臨床の場作り 目的・内容：学会会員を対象に思春期臨床の技術向上と思春期臨床への関心を拡大 対象：2700名 開催（配布）予定数：総会1回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
日本小児科医会	67,4	思春期小児科研修事業 目的・内容：思春期のこどもへの対応技術の向上 対象：日本小児科医会会員 開催数：1日	67,4	思春期小児科研修事業 目的・内容：思春期小児科の履修と実地応用のために 対象：1日間
	11	学校保健における小児保健ニーズ調査 目的・内容：学校保健の問題点を探る 対象：都道府県小児科医会 開催数：学校専門医校医に小児科医を！ 効果：学校保健に小児科医の関与を		
	6,29,60	子どもをタバコこの害から守る委員会（日本小児保健協会、医師会との合同活動） 目的・内容：子どもの喫煙防止、受動喫煙防止、などのための啓蒙活動、禁煙指導 対象：こども、一般市民、行政、医師	6,29,60	子どもをタバコこの害から守る委員会（日本小児保健協会、医師会との合同活動）（継続） 目的・内容：子どもの喫煙防止、受動喫煙防止、などのための啓蒙活動、禁煙指導とそれらの活動の成果の評価 対象：こども、一般市民、行政、医師
	4,45,60,61	フォーラム「一貫した成長曲線を作成しよう」 目的・内容：成長曲線を作成することによって、摂食障害、ネグレクト、肥満の早期発見ができるので、これを作ることの意義を啓蒙する 対象：一般市民、養護教員、小児科医、初期研修医 開催数：1回	1,4,42,59	育成医療の在り方に関する委員会による活動（継続し、提言をまとめる） 目的・内容：一般小児科医の必須条件としての子どもの心の問題を扱える小児科医の育成 対象：小児科医、特に初期臨床研修医および小児科専門医
			4,45,60,61	フォーラム「一貫した成長曲線を作成しよう」（継続） 目的・内容：成長曲線を作成することによって、摂食障害、ネグレクト、肥満の早期発見ができるので、これを作ることの意義を啓蒙する 対象：一般市民、養護教員、小児科医、初期研修医 開催（配布）予定数：1回
日本小児保健協会		第22回小児保健セミナー「不定愁訴を持つ子どもへのアプローチ」 目的・内容：夜更かし、小児慢性疲労症候群、不定愁訴の背景にあるものなど子どもの心身症や心の健康と関係ある問題につき6名の縁者が講演し、総合等異論をおこなった。 対象：医師、保健師、保育士教諭など参加者：230名 開催（配布）数：小児保健研究その他年1回 開催通算22回 効果：参加者の不貞愁訴に対する認識と対応を深めた		小児保健協会支部研究会並びに講演会 目的・内容：小児保健関係者、一般住民 対象：全国47都道府県支部において毎年1 - 2回開催 毎回：60 - 300名 参加

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
		<p>第52回日本小児保健学会プレコンgres: 公開シンポジウム1「子どもとメディア」</p> <p>目的・内容: IT社会における子どもの心の発達に対するメディアの影響とその対応</p> <p>対象: 医師、保健師、保育士心理、教師など参加者1000名</p> <p>開催(配布)数: 毎年 小児保健学会の前日に開催</p> <p>効果: ノーテレビデイなどの取り組み地域の増大</p>		
		<p>公開シンポジウム 「誤解されやすい子どものアレルギー」</p> <p>目的・内容: 小児人口の4 - 5%を占めるアレルギー疾患についての正しい理解と対応</p> <p>対象: 医師、保健師、看護師保育士、教師など参加者: 1000名</p> <p>開催(配布)数: 毎年 小児保健学会の前日に開催</p> <p>効果: 幼稚園、保育園などでのアレルギー小児への理解と対応を深めた</p>		
		<p>第52回日本小児保健学会学術集会小児保健に関するシンポ、ワークショップ、教育講演、特別講演、一般演題など</p> <p>目的・内容: 「健全な社会に向けての小児保健」をメインテーマとして小児保健の知識の普及と啓蒙</p> <p>対象: 医師、保健師、看護師、助産師、保育士、心理、栄養、教師など参加: 1600名</p> <p>開催(配布)数: 年1回開催学術講演集2000部</p> <p>効果: 症保健の啓蒙と普及</p>		
		<p>小児保健学会誌部研究会並びに講演会</p> <p>目的・内容: 健やか親子21 に関係するテーマで開催</p> <p>対象: 医師、保健師、看護師、助産師、保育士、心理、栄養、教師など1回: 60 - 300名参加</p> <p>開催(配布)数: 全国47都道府県支部において年1 - 2回開催</p> <p>効果: 到達目標の達成に寄与</p>		
		<p>21世紀の小児のメンタルイヘルス</p> <p>目的・内容: 子どもの心の健全育成</p> <p>対象: 小児保健関係者</p> <p>開催(配布)数: 小児保健シリーズ no: 581000部</p>		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
		不定愁訴を持つ子どもへのアプローチ 目的・内容：小児心身症の理解と対応、防止 対象：小児保健関係者 開催(配布)数：小児保健シリーズ No:59		
日本助産学会	18,24,14	研究助成 目的・内容： ・委託研究「ケトン体と体組成を用いた妊婦の栄養・ 体重管理指針の検討」 ・奨励研究「助産実践能力の比較 - 学部4年次教育 課程と大学院修士課程において -」 「10代妊婦の周産期における支援に関する研究」 対象：助産師助成規模：委託研究助成：1件 学術 奨励研究助成：2件 開催(配布)数：1回 効果：妊娠期における栄養・体重管理への支援に 向けたEBMとすることができた。助産師の資質向 上の為の教育方法の検討をすることができた。 10代妊婦の周産期における支援に関する知見が 得られた。	2,3,9,10,14,15,17-27	研究助成 目的・内容：わが国の助産学と母子保健の発展を 図ることを目的に毎年学術奨励研究ならびに委託 研究助成を行い、その成果を研究終了後広く公表し ている。委託研究については「健やか親子21」の課 題1、2に関連した研究課題について公募する。 対象：助産師 学術奨励研究助成 2件 委託研究 助成 2件 開催(配布)予定数：1回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	17,18,19,23,24,26,2,3,9,10	<p>第20回日本助産学会学術集会 目的・内容：＜メインテーマ＞「チームで育つ助産のチカラ」会長講演 福井トシ子特別講演「揺れる家族」教育講演「周産期の紛争防止・紛争解決 対話による取り組み」「チームでケアを提供するということ」その他、シンポジウム、ワークショップ(3題)、交流セッション、ランチョンセミナー、一般演題(第1課題に関連する演題5題、第2課題に関連する演題108題、計113題) 対象：＜参加者数・2日間＞学会員529名、非学会員359名、一般168名、学生44名、合計1100名 開催(配布)数：1回開催＜開催日・場所＞平成18年3月4日・5日東京ビッグサイト 効果：「チームで育つ助産のチカラ」のメインテーマを切り口として、周産期の紛争防止・紛争解決、周産期のリスクコミュニケーション、院内助産院システム、助産師の現任教育、周産期の看取りのケア等について講演、シンポジウム、ワークショップが行われた。一般演題では第1課題「思春期の保健」および第2課題に関する発表と討論が行われた</p>	17-27, 2,3,9,10,14,15	<p>第21回日本助産学会学術集会 目的・内容：＜メインテーマ＞求められる助産師の自律 - 地域の連携のもとで - ＜学術集会長＞宮崎文子氏(大分県立看護科学大学)会長講演「求められる助産師の自律」、特別講演「アフリカの助産師の自律」、教育講演「思春期心身医学から見た子育て」、基調講演、シンポジウム、ワークショップの他、一般講演を企画している。 対象：助産師 開催日：平成19年3月10日(土)・11日(日)会場：ビーコンプラザ(別府市)</p>
			14,18,24	<p>研修会 目的・内容：日本助産学会委託研究ならびに成果の公表および研究の推進のための研修を行う 対象：助産師、一般、学生 開催日：平成18年9月 会場：東京</p>
			17-27,2,3,9,10,14,15	<p>ワークショップ・フォーラム開催 目的・内容：「健やか親子21」の目標達成に向けた企画を計画する予定である。 対象：助産師、医療関係者、一般、学生 開催(配布)予定数：詳細は本学会ホームページ、学会誌、ニュースレター等で広報、情報提供を行う。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
社団法人日本助産師会	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,15	1. 無料電話相談事業2. 出張思春期教育の実施3. 思春期相談員の育成 目的・内容: 取り組みテーマに関して、無料の電話相談実施や学校等に出向き、思春期教育に携わった。さらに、思春期教育に使用する視覚教材を開発し関係機関に配布すると共に、指導員の資質向上を目指した研修会を開催した。 対象: 電話相談および思春期教育は、思春期の子ども達。視覚教材は、日本助産師会の47都道府県・47都道府県看護課および母子保健課、助産師教育機関、関係団体に配布した。 開催(配布)数: 思春期相談員育成に向けての研修会は4回開催した。(福岡県、大阪府福島県、東京都) 効果: 1. 47支援センターへ10万円のみ補助金であるが本部から提供できたことで、活動への意欲は高まった。 2. 視覚教材開発と研修会開催で、改めて思春期教育の重要性を認識できたことと理論と実践の結びつきができた。	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,15	1. 思春期教育視覚教材の普及および評価を実施平成17年度開発した、視覚教材の普及と共に実施評価を行い、修正を行なう。全国47都道府県において開催 2. 無料電話相談事業 47都道府県に設置されている子育て・女性健康支援センターにおいて、無料の電話相談を実施する。 3. 「伝えよう命の教育」研修会開催 思春期指導員資質向上のために、全国4ヶ所において研修会を開催する(北海道、鹿児島、京都府、東京) 対象: 全国の思春期の子どもたち 思春期教育に携わる助産師
日本性感染症学会			3	「性感染症 診断・治療ガイドライン2006」 目的・内容: 性感染症のガイドライン改訂版を作成、配布し、若者の性感染症罹患の予防に努める。 対象: 医療関係者 数は未定 開催(配布)予定数: 配布数は未定
日本赤十字社	4,5,7,8,11	平成17年度青少年赤十字トレーニング・センター指導者養成講習会 目的・内容: 赤十字と青少年育成事業について理解し、各都道府県において青少年赤十字活動の指導・推進を行う指導者を育成する。プログラム中、青少年赤十字の資材である『健康安全プログラム』を使用した健康・安全についての指導方法伝達の時間を設け、同プログラムの一層の普及を図る。 対象: 青少年赤十字指導者等(青少年赤十字加盟校の教諭)44名 開催(配布)数: 1回 効果: 青少年が『健康・安全』について考え、実践するように指導する契機となった。	4,5,7,8,11	平成18年度青少年赤十字トレーニング・センター指導者養成講習会 目的・内容: 赤十字と青少年育成事業について理解し、各都道府県において青少年赤十字活動の指導・推進を行う指導者を育成する。プログラム中、青少年赤十字の資材である『健康安全プログラム』を使用した健康・安全についての指導方法伝達の時間を設け、同プログラムの一層の普及を図る。 対象: 青少年赤十字指導者(青少年赤十字加盟校の教諭)約50名 開催(配布)予定数: 1回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	4,5,7,8,11	平成17年度青少年赤十字指導者中央講習会 目的・内容：赤十字と青少年育成事業について理解し、各都道府県において青少年赤十字活動の指導・推進を行う指導者を育成する。プログラム中、青少年赤十字の資材である『健康安全プログラム』を使用した健康・安全についての指導方法伝達の時間を設け、同プログラムの一層の普及を図る。 対象：青少年赤十字指導者等(青少年赤十字加盟校の教諭) 45名 開催(配布)数：1回	4,5,7,8,11	平成18年度青少年赤十字指導者中央講習会 目的・内容：赤十字と青少年育成事業について理解し、各都道府県において青少年赤十字活動の指導・推進を行う指導者を育成する。プログラム中、青少年赤十字の資材である『健康安全プログラム』を使用した健康・安全についての指導方法伝達の時間を設け、同プログラムの一層の普及を図る。 対象：青少年赤十字指導者(青少年赤十字加盟校の教諭)約50名 開催(配布)予定数：1回
	4,5,7,8,11,16	平成17年度青少年赤十字スタディー・センター 目的・内容：研修プログラムの中に、食育を含む健康・安全についての知識を伝達する。 対象：青少年赤十字メンバー(青少年赤十字加盟校の児童・生徒) 開催(配布)数：1回 効果：青少年が『健康・安全』について考え、実践する契機となった。	4,5,7,8,11	各都道府県支部主催メンバー対象講習会・研修会 指導者(教諭)対象講習会・研修会 目的・内容：研修プログラムの中に、健康・安全についての知識や指導方法を伝達する時間を設け、同プログラムの一層の普及を図る。 対象：青少年赤十字メンバー(青少年赤十字加盟校の児童・生徒)と指導者(青少年赤十字加盟校の教諭)
	4,5,7,8,11	各都道府県支部主催メンバー対象講習会・研修会 指導者(教諭)対象講習会・研修会 目的・内容：研修プログラムの中に、健康・安全についての知識や指導方法を伝達する時間を設ける。 対象：青少年赤十字メンバー(青少年赤十字加盟校の児童・生徒)と指導者(青少年赤十字加盟校の教諭) 効果：青少年が『健康・安全』について考え、実践する。またそのように指導する契機となった。		
財団法人 日本母子衛生助成会	2,3,4,5,6,7,8,9	リーフレット『ティーンズヘルスノート』 目的・内容：高校男女生徒に『健康は自分で育て、自分で守ろう』との意識向上を図る。 対象：自治体・高等学校を通じて住民・生徒に配布(875,000人) 開催(配布)数：875,000部 効果：思春期のからだ、健康、性感染症等についての正確な情報と健康維持について役立った。		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
日本母性衛生学会	2,3,9,10	第46回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容：市民公開講座「若者たちの性が危ない～避妊と性感染症予防を考える」(1)若者たちの性の現状(2)学校では今(3)若者と性感染症(4)新聞メディアと性情報(5)診療の現場から～避妊・中絶 対象：一般市民、教員、助産師、看護師、保健師等約300名 開催(配布)数：1回開催(宮崎県) 効果：学校、医療、報道等の立場から若者の危険な性の現状について報告があり、性教育への抵抗の動きもあるが、避妊と性感染症の予防教育の必要性が確認できた。		
社団法人 日本薬剤師会	6	「平成17年度学校薬剤師部会研修会」の開催 目的・内容：児童・生徒の健康増進、喫煙問題ほか、健やか親子21に関する研修等 対象：学校薬剤師 約150名 開催(配布)数：1回(東京都) 効果：学校薬剤師の資質向上	6	「平成18年度学校薬剤師部会研修会」の開催 目的・内容：児童・生徒の健康増進、喫煙問題、薬物乱用防止等に関する研修 対象：学校薬剤師 開催(配布)予定数：1回
	6	「薬と健康の週間」における事業 目的・内容：医薬品の適正使用、薬物乱用防止等をテーマに啓発事業、講習会等を各都道府県薬剤師会・地域薬剤師会等で実施 対象：一般市民 開催(配布)数：各都道府県薬剤師会・地域薬剤師会等で実施 効果：薬物の恐ろしさを周知し、特に青少年に対して薬物乱用防止を啓発	6	「薬と健康の週間」における事業 目的・内容：医薬品の適正使用、薬物乱用防止等をテーマに啓発事業、講習会等を各都道府県薬剤師会・地域薬剤師会等で実施 対象：一般市民 開催(配布)予定数：各都道府県薬剤師会・地域薬剤師会等で実施
	7	小冊子「いや！たばこの煙」 目的・内容：都道府県薬剤師会・地域薬剤師会が実施する市民向け講習会や、学校薬剤師が担当校において授業で使用するなどして、たばこや受動喫煙による健康影響について情報伝達を行うなど、未成年者の喫煙防止に関する啓発活動を実施 対象：一般市民、児童・生徒 開催(配布)数：24都道府県で約24,000部を配付。 効果：喫煙に至らないための指導および家族の喫煙による受動喫煙の影響等についての知識普及		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
財団法人 母子衛生研究会	1-4,7,19,29,31-33,35,42-46,50-53,58,63	「母子保健指導者研修会」開催 目的・内容：「健やか親子21」の課題をふまえ、地域母子保健活動の一層の向上を図る。 対象：保健師、助産師、看護師、保育士等母子保健関係者9,200名 開催（配布）数：46回開催（岐阜県を除く全都道府県） 効果：地域母子保健活動の向上に寄与できた。	1-4,7,19,29,31-33,35,42-46,50-53,58,63	母子保健指導者研修会」 目的・内容：保健、教育、福祉等の分野を越えた連携を図り、母子保健の諸問題への対応。 対象：保健師、助産師、看護師、保育士等母子保健関係者 5,000名 開催（配布）予定数：年間25回
社団法人 母子保健推進会議	15,19,50-55,59,61,66	「平成17年度母子保健家族計画全国大会 - 健やか親子21全国大会」子どもの笑顔は未来へ遺産～育もう！かけがいのない命、地域の絆～ 目的：健やか親子21の推進、母子保健知識の普及・啓発、ならびに地域母子保健事業の推進を図る 内容：功労者表彰、特別講演「修験道に学ぶ子育てのありよう」、シンポジウム「今こそ地域の母子保健システムの中に虐待予防を！」などを行った。 対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等800名 開催（配布）数：1回開催（奈良県） 効果：講演、シンポジウムは参加者の資質の向上に、地域母子保健活動に功績のあった個人・団体への表彰は、本人、家族、仲間に多大な喜び、自信、意識の向上となった。	2,3,9,10,15,51-54	平成18年度「健やか親子21全国大会」 目的：健やか親子21の推進、母子保健知識の普及・啓発、地域母子保健事業の推進を図る 内容：功労者表彰、特別講演、シンポジウム 対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等1,000名 開催（配布）予定数：1回開催（高知県）
	15,19,31,33,34,35,39,43,44,50-58,60-63,66	全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会 目的：母子保健推進員の活動を周知することにより、母子保健推進員の活動への理解を深め、子育て中の親の育児不安の軽減等へつなげる。 内容：全国の母子保健推進員活動の報告等。 対象：行政母子保健担当者、関係団体、母子保健推進員協議会代表等112名 開催（配布）数：1回開催（奈良県） 効果：母子保健推進員活動の周知は子育て中の親子への支援につながるとともに、全国から関係者が集まることで意見交換の場ともなった。	9,10,15,19,33,34,35,39,43,44,50-58,60-63,66	全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会 目的：母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつなげることを目的とする。 内容：全国の母子保健推進員の活動報告 対象：行政母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表、関係団体代表等150名 開催（配布）予定数：1回開催（高知県）

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10,15,19,26,50-55,59,63,65,66	<p>ブロック別母子保健事業研修会</p> <p>目的:「健やか親子21」は各地域でそれぞれの特性を生かしながら推進されている。関係機関の連携を深め新しい知識を共有することを目的とする。</p> <p>内容:虐待予防、育児不安の軽減、思春期保健、周産期からの子育て支援などをテーマに講演、シンポジウムなど</p> <p>対象:保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、保育士等計743名</p> <p>開催(配布)数:5会場で開催(北海道・栃木県・石川県・鳥取県・長崎県)</p> <p>効果:最新の情報を取得するとともに、近県の関係者が集まることで連携を深める機会</p>	2,3,9,10,15,19,50-55,59,63,66	<p>ブロック別母子保健事業研修会</p> <p>目的・内容:目的:「健やか親子21」は各地域でそれぞれの特性を生かしながら推進されている。そのため、関係機関の連携を深め、新しい知識を共有することを目的とする。</p> <p>内容:母子保健における虐待予防、育児不安の軽減、ピアカウンセリングと思春期保健、周産期からの子育て支援を目指して など</p> <p>対象:保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、保育士等計約1,000名</p> <p>開催(配布)予定数:5ブロック6会場(北海道・福島県・茨城県・岐阜県・岡山県・宮崎県)</p>
	2,3,9,10,15,19,34,50-55,63,66	<p>母子保健推進員研修会</p> <p>目的:市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。</p> <p>内容:虐待予防、育児不安の軽減、親と子のかかわり、思春期保健(薬物・自殺・性感染症)、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告等</p> <p>対象:母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,150名</p> <p>開催(配布)数:11回開催(佐賀県・富山県・山口県・茨城県・岐阜県・鹿児島県・新潟県・熊本県・長野県・沖縄県・宮城県)</p> <p>効果:母子保健推進員の資質の向上と母子保健推進員・保健師等の連携を深めることに寄与。</p>	2,3,9,10,15,19,34,39,50-55,58,63,66	<p>母子保健推進員研修会</p> <p>目的:市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。</p> <p>内容:虐待予防、育児不安の軽減、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告</p> <p>対象:母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,150名程度</p> <p>開催(配布)予定数:12回開催(山口県・佐賀県・富山県・長野県・松江市・群馬県・長崎県・熊本県・栃木県・高知県・宮城県・沖縄県)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10,51-58,66	母子保健・健全育成住民会議 目的:住民が主体的に参加することにより、その地域における子育ての問題を洗い出し、情報の共有と連携を図る。 内容:思春期の生と性、親と子のかかわりに関する講演など 対象:母親・父親の代表、母子保健推進員、子育てサポーター、保育士等800名 開催(配布)数:2回開催(石川県・和歌山県) 効果:子育てにかかわる人が一堂に会することで課題が浮き上がるとともに、悩みを共有し新しい情報を得ることができた。	2,3,6,8,9,15,16,33-35,39,40,43,44,50-55,58,63,66	組織育成費の助成 目的:母子保健推進員組織の育成・支援、 内容:県レベルの母子保健推進員組織がある2県に対し、各100,000円の助成を行う。 対象:和歌山県、沖縄県の各母子保健推進員協議会 開催(配布)予定数:1回(2県)
	2,3,6,8,9,15,16,33,34,35,39,40,43,44,50-55,58,63,66	組織育成費の助成 目的:母子保健推進員組織の育成・支援、 内容:県レベルの母子保健推進員組織がある7県に対し、各100,000円を助成 対象:佐賀県、和歌山県、山口県、富山県、長野県、沖縄県、新潟県の各母子保健推進員協議会 開催(配布)数:1回(7県) 効果:県レベルの協議会設置の必要性は皆が認識しながらも予算の捻出が困難であることが多く、同育成費は、母子保健推進員活動を支える大きな力となっている。	2,3,9,10,15,16,19,33-35,40,50-58,63,66	地域母子保健福祉情報紙 母推さん の発行 目的:地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容:厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。 対象:都道府県・保健所・市町村・関係団体等毎月10,000部発行 開催(配布)予定数:12回(毎月1回1日発行)
	2,3,9,10,15,16,19,33,34,35,40,50-58,63,66	地域母子保健福祉情報紙 母推さん の発行 目的:地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容:厚生労働省、専門職による情報提供、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。 対象:都道府県・保健所・市町村・関係団体等毎月10,000部発行 開催(配布)数:12回(毎月1回1日発行) 効果:行政、専門職からの情報、地域における母子保健活動の実際を広く掲載し、毎号全国から多くの反響が寄せられている。		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
財団法人 日本食生活協会	5,16	講習会「おやこの食育教室」 目的・内容：子どもにとって、家族と会話を楽しみながら食事を楽しむ中で、バランスのよい食べ方や、食事のマナーなど、適切な食育を身につけるために、食生活改善推進員が「おやこの食育教室」のパンフレットを使い、調理実習をしながら伝達講習をする。 対象：一般住民の親子14,700名 開催(配布)数：490回開催(全国46道府県、横浜市、大阪市、北九州市) 効果：食育に対する関心が深まり、料理をしたことがない子どもが料理に関心を持つことができた。	5,16	講習会「おやこの食育教室」 目的・内容：子どもにとって、家族と会話を楽しみながら食事を楽しむ中で、バランスのよい食べ方や、食事のマナーなど、適切な食育を身につけるために、食生活改善推進員が「おやこの食育教室」のパンフレットを使い、調理実習をしながら伝達講習をする。 対象：一般住民の親子14,700名 開催(配布)予定数：490回開催(全国46道府県、横浜市、大阪市、北九州市)
	5,16	パンフレット「おやこの食育教室」 目的・内容：上記講習会用テキストとして作成。 対象：一般住民の親子 開催(配布)数：14,700部	5,16	パンフレット「おやこの食育教室」 目的・内容：上記講習会用テキストとして作成。 対象：一般住民の親子 開催(配布)予定数：14,700部
	5,16	講習会「スポーツ(サッカー)少年と食育事業」 目的・内容：全国でサッカー、野球などのスポーツ活動が学校単位で盛んに行われていることから、参加する子どもと応援に来ている父兄を対象に、食生活改善推進員が「スポーツと食育」をテーマにした下敷きを使い伝達講習をする。 対象：スポーツ少年とその応援に来ている父兄14,700名 開催(配布)数：294回開催(全国46道府県、横浜市、大阪市、北九州市) 効果：スポーツする上で、規則正しい生活が大切ということを伝えることができた。	5,16	講習会「スポーツ(サッカー)少年と食育事業」 目的・内容：全国でサッカー、野球などのスポーツ活動が学校単位で盛んに行われていることから、参加する子どもと応援に来ている父兄を対象に、食生活改善推進員が「スポーツと食育」をテーマにした下敷きを使い伝達講習をする。 対象：スポーツ少年とその応援に来ている父兄14,700名 開催(配布)予定数：294回開催(全国46道府県、横浜市、大阪市、北九州市)
	5,16	下敷き「スポーツ(サッカー)少年と食育」 目的・内容：上記講習会用テキストとして作成。 対象：スポーツ少年とその応援に来ている父兄 開催(配布)数：14,700部	5,16	下敷き「スポーツ(サッカー)少年と食育」 目的・内容：上記講習会用テキストとして作成。 対象：スポーツ少年とその応援に来ている父兄 開催(配布)予定数：14,700部
	5,16	冊子「子どもの食生活」 目的・内容：小児期の孤(個)食、肥満とやせ、朝食欠食を含む生活リズムの乱れ等の問題をテーマに作成。 対象：小、中学生 開催(配布)数：5,000部	5,16	冊子「子どもの食生活」 目的・内容：小児期の孤(個)食、肥満とやせ、朝食欠食を含む生活リズムの乱れ等の問題をテーマに作成。 対象：小、中学生 開催(配布)予定数：5,000部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
日本泌尿器科学会	10	第1回 思春期性教育・性感染症研究会 目的・内容：思春期の若者に対する性教育ならびに性感染症についての正しい知識を普及させ啓発する。 対象：大学病院泌尿器科教授ならびに実務担当者等 40名 開催（配布）数：1回開催（東京都） 効果：知識の普及ならびに啓発用の資材が検討され、その重要性が再認識された。	10	第2回 思春期性教育・性感染症研究会 目的・内容：思春期の若者に対する性教育ならびに性感染症についての正しい知識を普及させ啓発する。 対象：大学病院泌尿器科教授ならびに実務担当者等 40名 開催（配布）予定数：1回開催
全国母子保健推進員連絡協議会	15,19,31,33,34,35,39,43,44,50,51,52,53,54,55,56,57,58,63,66	「全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会」の開催 目的：母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつなげることを目的とする。 内容：全国の母子保健推進員の活動報告、厚生労働省母子保健課長講評、情報交換 対象：行政母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表等112名 開催（配布）数：1回開催（奈良県） 効果：母子保健推進員活動の周知は子育て中の親子への支援につながるとともに、全国から関係者が集まることで意見交換の場ともなった。	2,3,9,10,15,51,52,53,54	平成18年度健やか親子21全国大会 目的：健やか親子21の推進、母子保健知識の普及・啓発、地域母子保健事業の推進を図る。 内容：功労賞表彰、シンポジウム、講演 対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等1,000名 開催（配布）予定数：1回開催（高知県）
	2,3,4,5,9,10,14,15,18,52,54,55,61	「地区別母子保健事業研修会」への後援 目的：「健やか親子21」は各地域でそれぞれの特性を生かしながら推進されている。そのため、関係機関への連携を深め、新しい知識を共有することを目的とする。 内容：母子保健における虐待予防、育児不安の軽減、思春期保健、周産期からの子育て支援を目指して など 対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、保育士等743名 開催（配布）数：5会場で開催（北海道・栃木県・石川県・鳥取県・長崎県） 効果：母子保健に関する最新の情報を取得するとともに、近県の関係者が集まることで連携を深める機会	9,10,15,19,33,35,39,43,33,50,51,52,53,54,55,56,58,66	全国母子保健推進員連絡協議会活動報告 目的：母子保健推進員の活動を周知することにより、母子保健推進員の活動への理解を深め、住民の育児不安の軽減へつなげることを目的とする。 内容：全国の母子保健推進員の活動報告等 対象：行政母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表、関係団体代表等150名 開催（配布）予定数：1回開催（高知県）

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10,15,19,34,50,51,52,53,54,55,63,66	「母子保健推進員研修会」への後援・協力 目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質を図る。 内容：虐待予防、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告 対象：母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,150名 開催（配布）数：11回開催（佐賀県、富山県、山口県、茨城県、岐阜県、鹿児島県、新潟県、熊本県、沖縄県、長野県、宮城県） 効果：母子保健推進員の資質の向上と母子保健推進員・保健師等の連携を深めることに寄与	2,3,9,10,15,19,50,51,52,54,55,59,63,66	地区別母子保健事業研修会 目的：「健やか親子21」は各地域でそれぞれの特性を生かしながら推進されている。そのため、関係機関の連携を深め、新しい知識を共有することを目的とする。 内容：母子保健における虐待予防、育児不安の軽減、思春期保健、食育、周産期からの子育て支援を目指して 対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、保育士等計約1,000名 開催（配布）数：5ブロック6会場（北海道、福島県、茨城県、岐阜県、岡山県、宮城県）
	2,3,9,10,15,16,19,33,34,35,40,50,51,52,53,54,55,56,57,58,63,66	「地域母子保健福祉情報紙 母推さん-」の刊行 目的：地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：厚生労働省・専門職の頁、地域母子保健活動の実際等。 対象：都道府県・保健所・市町村・関係団体など 開催（配布）数：年12回、月1万部発行 効果：母子保健推進会議に協力し制作した本紙は、情報収集、アイデアの提供にもなり毎号全国から多くの反響が寄せられている。	2,3,9,10,15,19,34,35,36,50,51,52,53,54,55,58,63,66	母子保健推進員研修会 目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：虐待予防、親と子の関わり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告 対象：母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,000名程度 開催（配布）数：12回開催（山口県・佐賀県・富山県・長野県・松江市・群馬県・長崎県・熊本県・栃木県・高知県・宮城県・沖縄県）
	2,3,9,10,51,52,53,54,55,56,57,58	「母子保健・健全育成住民会議」の開催 目的：子育てに関わる地域住民が主体となり課題を洗い出し、情報の共有と連携を摸索する。 内容：報告「思春期保健の実践活動」講演「思春期における性と健康」「わたし」と「親としてのわたし」等 対象：母親・父親の代表、母子保健推進員、子育てサポーター等約800名 開催（配布）数：2回開催（和歌山県、石川県） 効果：子育て中の人、子育てに関わる方々が一同に会することで課題が浮き上がるとともに、「一人じゃない」ことを実感できた人が多く見られた。	2,3,9,10,15,16,19,33,34,35,40,50,51,52,53,54,55,56,57,58,63,66	地域母子保健福祉情報紙 母推さん-の発行 目的：地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声等 対象：都道府県・保健所・市町村・関係団体等へ毎月10,000部発行 開催（配布）予定数：年12回（毎月1日発行）

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
財団法人 日本性教育協会(JASE)	2,3,9,10	「養護教諭のための性教育セミナー」 目的・内容: どうしたら孤立せずに学校全体を巻き込んだ性教育ができるかを、「企画力」「実行力」「調整能力」の視点から考える。 対象: 養護教諭、保健関係者35名 開催(配布)数: 4回(東京・JASE会議室) 効果: 孤立しがちな養護教諭、保健関係者をエンパワメントすることができた。	2,3,9,10	「養護教諭のための性教育セミナー」 目的・内容: 学校性教育担当者のエンパワメント 対象: 養護教諭、保健関係者延べ約50名 開催(配布)予定数: 2回
	2,3,9,10	「性・エイズ教育のための実践セミナー」 目的・内容: 性教育をもっと楽しく、もっと豊かにする工夫を提示する。 対象: 教育・保健関係者30名 開催(配布)数: 4回(東京・JASE会議室) 効果: 思春期の若者に進んで参加してもらえる性教育の工夫を提示することができた。	2,3,9,10	「第36回全国性教育研究大会」 目的・内容: 学校現場の性教育を活性化するための人材育成 対象: 教育・保健関係者約600名 開催(配布)予定数: 1回
	2,3,9,10	「第7回アジア・太平洋地域エイズ国際会議JASEサテライト・シンポジウム」 目的・内容: 若者に対するエイズ/性教育の試みを、アジアの視点から紹介する 対象: 教育・保健・医療関係者250名 開催(配布)数: 1回(神戸・国際会議場) 効果: 若者の性感染症対策を模索する教育・保健・医療関係者に対して、今後の活動の参考となる身近なアジアの試みを提示することができた。	2,3,9,10	「平成18年度世界エイズデーシンポジウム」 目的・内容: 学校における性・エイズ教育の啓蒙 対象: 教育・PTA・保健・医療関係者 約700名 開催(配布)予定数: 1回
	2,3,9,10	「平成17年度世界エイズデーシンポジウム」 目的・内容: 今求められている、学校における性教育・エイズ教育を考える 対象: 教育・PTA・保健・医療関係者700名 開催(配布)数: 1回(東京・国立オリンピック記念青少年総合センター) 効果: エイズに関する正しい知識と理解の普及を果たすことができた。	2,3,9,10	第50回日本 = 性研究会議 目的・内容: 若者の性行動調査分析の発表 対象: 教育・PTA・保健・医療関係者 約200名 開催(配布)予定数: 1回
	2,3,9,10	研修会「第35回全国性教育研究大会」 目的・内容: 学校現場の性教育を活性化するための人材育成 対象: 教育・保健関係者600名 開催(配布)数: 1回(神奈川県川崎市・川崎市教育文化会館大ホール) 効果: 学校教育における性教育の重要性を伝えることができた。	2,3,9,10	「日本エイズ学会シンポジウム」 目的・内容: 思春期の若者に対するエイズ啓蒙教育 対象: 教育・PTA・保健・医療関係者 約200名 開催(配布)予定数: 1回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
- 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10	講演会「第48回日本 = 性研究会議」 目的・内容:性教育・性科学研究者の研究発表性・ エイズ教育の実効性を高めるための開発研究 他 対象:教育・保健・医療・性科学研究者100名 開催(配布)数:1回(東京・家の光会館コンベンシ ョンホール) 効果:学校における性・エイズ教育の重要性を伝える ことができた。		
健康日本21推進フォーラム	5,16	食育リーフレット 3 「食べてる？ 魚」 目的・内容:和食の長所の一つとされる魚を食べら れない子どもが増え、脂質摂取バランスに影響する なか、魚の栄養、魚嫌いを直すヒントなどを訴求 対象:日本栄養士会会員及び都道府県庁担当課 開催(配布)数:18万部 効果:管理栄養士・栄養士による食育指導を支援	16	食育リーフレット 4 「食べてる？ ごはん」 目的・内容:和食の長所の一つとされるごはんの長 所、ごはん嫌いを直すヒントなどを訴求 対象:日本栄養士会会員及び都道府県庁担当課 開催(配布)予定数:18万部
			7	「禁煙支援」基礎調査 目的・内容:市町村が提供する「禁煙支援プログラ ム」の現状を調査し、当フォーラムによる活動支援 のための基礎資料とする 対象:全国保健センター連合会会員市町村保健セ ンター